

当社グループ 米国初の賃貸住宅事業

ニューヨーク「160 マディソン」計画に参画

- 三井不動産株式会社（所在：東京都中央区日本橋室町 2-1-1）は、この度、米国子会社「Mitsui Fudosan America, Inc.（三井不動産アメリカ、代表者：吉田幸男）」を通じて、賃貸住宅事業「160 Madison（160 マディソン）」計画に事業参画しましたので、お知らせいたします。
- 本物件は、地下鉄 3 路線 2 駅（「33rd St.」駅、「34th St./Herald Square」駅）が徒歩 5 分圏内に位置し、最寄駅からマンハッタンの主要オフィス街であるミッドタウンへ電車で 4 分という通勤至便な立地環境にあります。本物件周辺には、「ブライアント・パーク」、「マディソン・スクエア・パーク」といった緑に囲まれた市民の憩いの公園や、百貨店「メイシーズ」と「ロード&テイラー」、レストランやバー、物販店舗が集積する生活利便性が非常に高いエリアです。
- 本事業は、ニューヨークのデベロッパー「J.D. Carlisle Development（JD カーライル）」と不動産ファンド「DLJ Real Estate Capital Partners（DLJ リアルエステイトキャピタルパートナーズ）」との共同事業になります。両社はこれまで賃貸住宅での共同事業実績があり、本事業も両社の経験と実績を生かした計画で、両社とともに三井不動産アメリカは事業を推進してまいります。
- 建物計画については、総戸数 318 戸で 42 階建ての近隣立地では初となるタワー型賃貸マンションです。商品企画については、外観を全面ガラスカーテンウォール仕上げとし、内装についても高級感を演出するほか、最上階にラウンジおよびルーフトップテラスを備え、2 階にはジムを設置するなど共用施設も充実させる計画です。事業スケジュールについては、2013 年夏着工、2015 年秋の竣工予定です。



完成予想パース



※【参考】「JD カーライル」と「DLJ リアルエステイトキャピタルパートナーズ」共同事業実績
物件名「ベアトリス」内装写真

- 当社グループは、米国ではニューヨーク、ワシントンD.C、サンフランシスコの3都市において合計5棟のオフィスビルを保有し賃貸事業を展開しているほか、昨年8月にワシントンD.Cにおいて新たに1棟のオフィスビル開発事業に着手し、またハワイにてハレクラニホテルを含む2棟のホテル事業を行っております。今後も、米国において更なる事業機会の獲得を目指してまいります。
- 当社は、グループ中長期経営計画「イノベーション 2017」にて、海外事業を成長分野の一つに位置づけております。欧米エリアにおいては、従来のオフィスビル賃貸事業に加え、今回の賃貸住宅事業のような新規事業分野にも積極的に取り組み、良質なポートフォリオを拡充してまいります。なお、海外事業については2017年度までに約5,000億円の投資を行うことを、「イノベーション 2017」において策定しております。

以 上

<添付資料1>「160 マディソン」概要

所在地	160 Madison Avenue, New York, NY
交通	地下鉄「33rd St.」駅 徒歩2分、 地下鉄「34th St./Herald Square」駅 徒歩5分
敷地面積	21,500sf（約604坪）
延床面積	312,400sf（約8,778坪）
賃貸面積	258,000sf（約7,250坪） ※基準階7,200sf（約202坪）
総戸数	318戸
階数	地下1階、地上42階建て
スケジュール	2013年夏 着工 2015年秋 竣工予定

＜添付資料 2＞ 位置図

